



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社サインド

上場取引所 東

コード番号 4256 URL <https://cynd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥脇 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 高橋 直也

TEL 03-6277-2658

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	307		86		87		58	
2022年3月期第1四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.14	9.40
2022年3月期第1四半期		

(注)2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第1四半期	3,169		2,983		94.1	
2022年3月期	3,171		2,924		92.2	

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 2,983百万円 2022年3月期 2,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,354	24.3	357	19.6	357	30.2	239	30.8	41.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,800,000 株	2022年3月期	5,800,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	株	2022年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,800,000 株	2022年3月期1Q	株

(注)2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足情報資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢の影響など、景気の先行き不透明な状況が続いているものと考えられます。

このような環境の中、当社は、「インターネットを通じて、心のつながりを提供する」というミッションのもと、理美容店舗に対して、店舗とお客様のつながりをサポートする、クラウド型予約管理システム

「BeautyMerit（ビューティーメリット）」の提供を通じた事業展開を行ってまいりました。理美容サービスにおけるネット予約の普及等を背景に店舗の規模の大小に関わらず店舗経営の情報システム化は加速しております。当社サービスの拡大余地がある今は、当社営業の増員が契約店舗数の獲得に大きく影響すると考え、積極的に人材採用を進めてまいりました。当社のサービスは顧客のアフターフォロー、販促、リピーターを増やすためのサポートなど多岐にわたって一定の知識や経験が必要であるため、即戦力として中途採用を中心に増員しておりますが社員育成については一定の教育期間を要すると考えており社内研修を強化するなど、人材育成の体制構築も進めております。引き続き人材採用・人材育成を推進し、サービスの向上に努めてまいります。

当第1四半期累計期間においては当社サービスのシェア拡大に向けて営業体制を強化するため、当社の直販営業の増員やシステム導入・カスタマーサポートの強化の推進、理美容店舗に対して美容商材の販売を行う理美容ディーラー等の理美容関連事業者を中心とした代理店パートナーの増強などを推進いたしました。またパートナーネットワークの強化のため、全国各地の代理店パートナーに向けて当社サービスの理解を促す取り組みや、営業活動のサポートを推進いたしました。

新たな取り組みとして国内最大級のプロフェッショナル理美容業界イベントへのブース出展など、当社サービスの更なる認知拡大のための施策も積極的に取り組み、今後のマーケティング手法の検討のための施策を実施いたしました。このような取り組みを推進したことを背景に、当社サービスの契約店舗数は6,000店舗を超え、順調に増加しております。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は307,320千円、営業利益は86,962千円、経常利益は87,213千円、四半期純利益は58,824千円となりました。

なお、当社は理美容ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は3,169,892千円となり、前事業年度末に比べ1,255千円減少いたしました。

これは主として、棚卸資産の減少681千円、無形固定資産の減少509千円によるものです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は186,587千円となり、前事業年度末に比べ60,079千円減少いたしました。

これは主として、法人税等の納付に伴う未払法人税等の減少54,501千円によるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,983,305千円となり、前事業年度末に比べ58,824千円増加いたしました。

これは、四半期純利益58,824千円を計上したことによる利益剰余金の増加によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の予想につきましては、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,008,319	3,009,809
売掛金	72,709	73,238
棚卸資産	2,272	1,590
その他	20,550	17,799
貸倒引当金	△370	△375
流動資産合計	3,103,480	3,102,062
固定資産		
有形固定資産	24,931	26,012
無形固定資産	583	73
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,729	1,911
その他	42,152	41,743
貸倒引当金	△1,729	△1,911
投資その他の資産合計	42,152	41,743
固定資産合計	67,667	67,829
資産合計	3,171,147	3,169,892
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	60,904	51,186
未払法人税等	88,311	33,810
賞与引当金	16,438	32,877
その他	81,011	68,712
流動負債合計	246,666	186,587
負債合計	246,666	186,587
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197,000	1,197,000
資本剰余金	1,196,000	1,196,000
利益剰余金	531,480	590,305
株主資本合計	2,924,480	2,983,305
純資産合計	2,924,480	2,983,305
負債純資産合計	3,171,147	3,169,892

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	307,320
売上原価	56,159
売上総利益	251,160
販売費及び一般管理費	164,197
営業利益	86,962
営業外収益	
受取配当金	0
助成金収入	250
営業外収益合計	250
経常利益	87,213
税引前四半期純利益	87,213
法人税等	28,388
四半期純利益	58,824

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

当社は、理美容ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。